

双塔



新潟教会

2013年 9月

N

○. 304



良い実を結ぶ事が出来るように

助任司祭 ナジ・エデルベルトゥス

8月下旬(20日)に司教館の食堂に1箱の桃が置かれてあるのを見て不思議に思いました。英語の諺で覚えたせいか、桃を始め多くのリンゴ、栗など9月下旬から収穫できるようになると思いこんでいました。栗の実には9月下旬から取れるので桃の実も同じ時期に熟すると思っていました。「桃栗三年、柿八年」ですが桃の実の方が早く取れます。昔話の桃太郎は9月ごろ拾われたのか、あるいはもっと遅いかもかもしれませんが果物や木の実を気楽に取れる時期は9月ではないかと思えます。英語の諺にも”September, blow soft, till the fruits in the loft.”(9月よ、木の実を倉にしまうまで風を静かに吹かせておくれ)とあります。

例年より気候が変わっているかもしれませんが、栗のお菓子は9月下旬にもよく見られます。お菓子になる前の栗の実を見ると苦勞を思い出す人がいると思えます。いが栗は嫌な感じを思い出させ、避けたい感じを起こします。それでも美味しいお菓子にするために、職人の技と苦勞を伴ってでも頑張る人は偉いですね。今月の司祭叙階50周年記念パーティーに参加する事にしました。その記念パーティーで栗のお菓子が出るかもしれませんね。

時間や健康のせいでそれに参加できない方は町田神父のためにどこでも祈りを捧げる事ができます。神は50年間彼を導かれ、彼によって多くの人を力づけてくださった事に感謝を共にする事は相応しい行動でしょう。彼は色々な苦勞もありましたが、それらのお陰で今の自分があるというふうを受け止められて感謝一杯で記念日を迎えられる様子ですね。広い心で過去を見、悔いのない、力ある言葉で語る事は、神の勇氣と愛に満たされた使徒と殉教者達の事を思い出させます。

殉教者と言えただれでもなれるものではありません。神から与えられなければ人間が望んでも殉教者にはなれません。今月10日に記念される205福者殉教者、28日に記念される16人の殉教者、この221人は神に選ばれ、その喜びに歩んだ方々です。彼らの存在は神の救いの喜びを見る目を鍛える「苦勞の実り」模範であり、日本における聖靈の働きの恵みの輝きでもあると思えます。

私達は彼らのように殉教者になる恵みを頂かないかもしれませんが、イエス様の使徒になれるように勇氣と力を願いましょ。イエス様の御言葉に耳を傾け、神との一致を養う秘跡に与り、すべての人の救いを願う事によって、使徒の使命と信仰の実りに関係ある御言葉を心にとめましょ。「あなたがたが私を選んだのではない。私があなたがたを選んだ。あなたがたが出掛けて行って実を結び、その実が残るためである」(ヨハネ 15.16)。聖トマス西と15殉教者、私達が良い実を結ぶ事が出来るように祈り給え。

エデイから

■ 聖母の被昇天 ----- 8月15日(木) 10:00~ -----

聖母被昇天のお祝いは、猛暑のさなかではあったが雲ひとつない好天に恵まれ、菊地司教様主司式のミサで始まった。司教様は説教の中で、数日前に訪問した宮古教会で、那覇教区派遣の主任司祭と、札幌教区からのボランティア、それに地元の信徒が一つになっている様子を紹介。他方、震災から2年半を経て、被災者の間にも分裂が生じている現状に触れ、「この世の共同体と、キリストのもとに一つに集っている教会共同体の違い」を指摘された。ミサ後はバーベキュー、子供たちはスイカ割りなどを楽しんだ。なお68回目の終戦記念日にあたり、正午には司教様の先導で、すべての戦争犠牲者のために黙祷がささげられた。

《2013年 9月の聖書クラス・信仰講座のご案内》

曜日	時間	内容	担当 司祭
月曜日(不定期)	午前10:00~	キリスト教のQ&A	三崎 神父
水曜日(毎週)	午前10:00~	聖書クラス	ラウル神父
第2 土曜日	午前10:00~	カトリック教会の教え	ラウル神父

※「カトリック教会の教え」は、予定表を御覧ください。

※月曜日の「キリスト教のQ&A」は開催できない日がありますので、お問い合わせください。

※講座に参加される方は、担当司祭にご連絡ください。

ミサ時間のご案内

†主日(日曜日) 7時・9時半・12時※ 18時
 ※第1日曜日は英語ミサ
 †週日(金曜以外) 7時
 †金曜日 10時(第1金曜日 10時・18時)

カトリック新潟教会 月刊「双塔」

毎月1回 最終日曜日発行
 編集・発行/カトリック新潟教会
 教会運営委員会広報部
 〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656
 TEL: 025-222-5024 FAX: 025-222-5054